

(シカ計画)

項目	頁	行	意見	対応
5	P3 P6	- -	農業被害強度のグラフ及び分布図等について、凡例等を工夫すること。	農業被害強度等の数値についての注釈を記載しました。 また、生息密度分布図は凡例の色分けを変更しました(資料編)。
7.(1) 7.(3)① 7.(3)② 10	P9 P13 P13 P15	L34-38 L10-12 L19-21 L11-12	南部のシカの定着防止対策について、具体的に記載すること。	自動撮影カメラ等によるモニタリング及び遺伝子検査の実施や目撃情報等の市町村への情報提供について記載しました。また、南部地域の市町村のシカへの意識を高めるとともに、シカを鳥獣被害防止計画の対象鳥獣に指定し、国交付金事業を活用するよう働きかけることについて記載しました。
7.(3)② 7.(3)④ 11.(3)	P13 P13 P17	L22-24 L39-41 L2-10	捕獲個体の適正処理(焼却処分、資源利用による林外への持ち出し処分)について記載すること。 資源利用については、近隣府県との連携も含め、具体的に記載すること。	ジビエ利用や焼却処分による捕獲個体の適正処理について、記載しました。 ジビエ利用については、近隣府県の既存処理加工施設等の情報収集及び関心を持つ市町村への情報提供について記載しました。
9.(2) 9.(3)	P14 P14	L25-26 L36-39	防護柵の設置にあたっては、効果的な方法での設置を推進することについて記載すること。	効果的な防護柵の設置及び維持管理について記載しました。
9.(2)	P14	L27-29	農業被害の被害防除対策の目的について、防除を推進することが分かるような指標の記載方法を検討すること。	「地域における防除意識を高めることにより、農業被害アンケートにおいて、「防護柵の効果がない」の回答がなくなるようにすることを目標とする。」と記載を変更しました。
8	P14	L1-6	森林被害については、風倒木被害による影響とその対応について記載すること。	風倒木被害地及び当該復旧跡地の草地化と防護柵等によるシカへの餌環境の提供の防止について記載しました。

■令和3年度 第2回大阪府シカ・イノシシ保護管理検討会(R3.11.22)での主な意見との対応について

(シカ計画)

項目	頁	行	意見	対応
5.(2)②	P7	-	下層植生衰退度の推移の図を本文にも掲載すること。	下層植生衰退度の推移の図を追加しました。
5.(2)③ 8	P8 P13	L1 L43	「生息環境管理」については、本来、森林における生息地の管理(生息地の環境管理)と農地周辺での環境管理(被害防除対策のための管理)を分けて考えるべきである。記載方法を工夫すること。	「生息環境管理」については、「環境管理」に記載方法を修正しました。
6.(2)	P9	L4-6	森林の下層植生の被害の軽減に関する短期目標は、下層植生衰退度3以上の地域は放置するかのように読み取れる。被害が深刻な地域においても十分な対策を講じること。	森林の下層植生の被害の軽減に関する目標について、被害が大きい区域においては、個体数管理と併せて必要に応じて防護柵の整備等を行うことについて記載しました。
7.(1) 7.(3)① 7.(3)② 10	P9 P13 P13 P15	L34-38 L10-12 L19-21 L11-12	南部のシカの定着防止対策について、具体的に記載すること。	自動撮影カメラ等によるモニタリング及び遺伝子検査の実施や目撃情報等の市町村への情報提供について記載しました。また、南部地域の市町村のシカへの意識を高めるとともに、シカを鳥獣被害防止計画の対象鳥獣に指定し、国交付金事業を活用するよう働きかけることについて記載しました。
7.(2)①	P10	L5-17	表1の令和3年度の捕獲目標は、第4期計画の捕獲目標である1,400頭にするべきである。また、本計画期間の捕獲目標である1,550頭の設定根拠を記載すること。	表1の令和3年度の捕獲目標を修正しました。また、第5期の捕獲目標の設定方法について記載しました。なお、捕獲目標については、大阪府シカ・イノシシ保護管理検討会において、毎年見直しを行うこととします。
8 9.(1) 9.(2) 9.(3)	P14 P14 P14 P14	L7-9 L19-22 L30-33 L43-46	植生被害対策にあたっては、人工林だけでなく自然林も含めた森林を対象として対策を講じることが分かるような記載にすること。	広葉樹林等の自然林を含めた森林を対象として、植生被害への対策を講じることについて記載しました。
9.(3)	P14	L40-41	研修会の実施などの被害防除対策については、関係部局と連携して取り組むことについて記載すること。	専門家の協力を得ながら、関係機関と連携して、被害防除に関する研修会を実施することについて記載しました。
11.(1)	P16	L8-11	南部のシカ対策に関して、隣接府県との連携について記載すること。	南部のシカ対策に関して隣接府県との連携について記載しました。
11.(2)① 11.(2)②	P16 P16	L20 L38-39	豚熱等への防疫対策等に関する情報について、各種関係団体への情報共有について記載すること。	豚熱等への防疫対策に関する情報について、各種関係団体への情報共有を行うことについて記載しました。
7.(3)④ 11.(3)	P13 P17	L39-41 L1-10	ジビエ利用に関して、ジビエ利用を推進するための具体的な方法を記載すること。	地域の飲食店等と連携した捕獲の取組み事例等の先行事例に関心を持つ市町村に情報提供を行うことや、有害捕獲等で捕獲した食肉利用率の把握に努めることについて記載しました。
11.(4)	P17	L12-16	来年の春に策定予定の大阪府生物多様性地域戦略との整合性について記載すること。	大阪府生物多様性地域戦略やSDGs等の他計画との連携について記載しました。
資料編 4(3)	P10	-	生息密度に関する各種指標をまとめた図を作成すること。	各種生息密度指標の推移の図を追加しました。